

目

次

一 寛文三年七月 仙石政俊家中法度	1
二 寛文三年七月 仙石政俊知行人法度	1
三 寛文八年三月 仙石政明百姓法度	2
四 寛文十年十二月 仙石政明二一か条定書	3
五 宝永三年六月 松平忠周二一か条法度	4
六 宝永八年七月 松平忠周僕約触書	5
七 延宝五年四月二十二日 時鐘つき料割之事	6
八 宽政十一年 山口村・房山村・常田村町並み加入請書	6
九 元禄五年正月二十八日 海野町市日変更願	7
一〇 元禄七年三月 木綿・布尺幅改達書	7
一一 元禄十六年六月 和州郡山商人繰錦仕切状	7
一二 元禄七年三月 二季私勘定申付	8
一三 延宝九年四月二十日 他領出米禁止申渡	8
一四 寛文十年十二月 他所商人在分へ入込禁止	8
一五 寛文八年正月十三日 商札、古札共代金差上	8
一六 天明五年 町内諸役取決	9

一八 宝永三年十二月二十二日 自身番勤めの心得

一九

宝暦十年六月

町定

二〇

嘉永元年八月五日 再び長屋新建停止の触書

.....

二一

文政三年五月 上田町市法取極次第書

.....

二二

天保二年十月 上田原町茶屋取締一件

.....

二三

明和二年—明和五年 江戸藩邸家臣生活記録

.....

二四

天保元年正月 新金上田領内不通用記録

.....

二五

享保元年二月 肥後国旅人銀使用一件

.....

二六

寛政元年正月 肥後国旅人銀使用一件

.....

二七

安政四年七月 古銀札新札引き替記録

.....

二八

文政十年正月 吳服屋正札付現金での商い

.....

二九

天保二年十二月 栄木屋新兵衛出火記録（抄）

.....

三〇

天保十年九月 市神再建一付奉願口上書

.....

三一

文化十年七月 上田原町定脚渡世一件

.....

三二

弘化三年正月 原町市神祭での商売の様子

.....

三三

天保十三年六月 上田藩諸商売取締制度書

.....

一九

宝永三年 紺屋町口・常田口に番所設置

.....

11 歴史編(8) 近世の交通と上田宿

目

次

一 元禄二年 浦野宿市場の詮議法度	22
二 享保十二年 浦野宿の市場出入りに付證文	22
三 原町使者宿関係文書	
(一) 享保十五年七月 原町使者宿修復願	23
(二) 享保十五年七月 原町使者宿修覆料借用願	23
(三) 明和八年二月 使者宿兵右衛門絆着用御免	24
四 正徳六年(享保元年)閏二月町奉行月次会合申渡	24
五 元文六年七月 宿屋取締令	
六 寛保元年 旅籠屋申渡	
七 天保十一年四月 旅籠屋での夜売商取締令	
八 宝永四年二月 旅籠代請取証文	25
九 天保十三年八月 上田宿旅籠代問合往復書簡	26
一〇 天保十二年三月 長岡藩牧野家所替通行人馬等請書	
一一 安政年間 旅籠代値上	
一二 安政元年七月 旅籠代値上等申渡	27
一三 貞享三年十二月 原町旅籠屋宿泊旅人調	
一四 安政七年五月 旅籠代値上申付	27
一五 安政七年五月 旅籠代値上等申付	27
一六 文化十年 塩尻組加助郷免除歎願書	
一七 天保二年 塩尻組加助郷免除歎願書	22
一八 文化十年 塩尻組加助郷免除歎願書	22
一九 慶應三年 上田藩士小林源右衛門口上書	
二〇 文政十三年 伊勢抜参りの届出	
二一 文化十三年 山部忠助大屋橋講押借金	
二二 明和四年 幕府御觸書	
二三 文化十三年 諏訪形村旅籠屋出入り一件請書	
二四 御附札	
二五 天保十一年四月 旅籠屋での夜売商取締令	
二六 天保十三年八月 上田宿旅籠代問合往復書簡	
二七 天保十二年三月 長岡藩牧野家所替通行人馬等請書	
二八 安政年間 旅籠代値上	
二九 安政元年七月 旅籠代値上等申渡	
三〇 安政七年五月 旅籠代値上申付	
三一 文化十年 宿村継送途中での病死一件	

一三 天保十年 国分寺組村柄見分時の加助郷免除歎願書	28
一四 弘化三年 道中奉行所ら被仰渡候付御請證文	30
一五 天保十一年 矢澤領八か村加助郷免除歎願書	31
一六 文化十年 塩尻組加助郷免除歎願書	32
一七 天保二年 塩尻組加助郷免除歎願書	32
一八 文化十年 塩尻組加助郷免除歎願書	32
一九 慶應三年 上田藩士小林源右衛門口上書	33
二〇 文政十三年 伊勢抜参りの届出	33
二一 明和四年 幕府御觸書	34
二二 文化十三年 諏訪形村旅籠屋出入り一件請書	34
二三 文化十三年 山部忠助大屋橋講押借金	35
二四 御附札	35
二五 天保十一年四月 旅籠屋での夜売商取締令	35
二六 天保十三年八月 上田宿旅籠代問合往復書簡	36
二七 天保十二年三月 長岡藩牧野家所替通行人馬等請書	37
二八 安政年間 旅籠代値上	37
二九 安政元年七月 旅籠代値上等申渡	38
三〇 安政七年五月 旅籠代値上申付	38
三一 文化十年 宿村継送途中での病死一件	39

(一) 乍恐以書付御註進奉申上候	40
(二) 覚	41
(三) 容躰書	41
(四) 吉弥と村役人口上書	41

12

歴史編(9) 近世の農民生活と騒動

目次

一 弘化三年 上塩尻村年貢割付状	43
二 弘化三年 上塩尻村貢納通	44
三 弘化三年 上塩尻村源左衛門年貢受取	45
四 千鯛附送の記事 (西沢家文書)	46
五 「小惑録」 (桂家文書)	46
六 「私議政事録」 (桂家文書)	50
七 天保十三寅四月 宗門御改之節次第 上塩尻村控	53

13

歴史編(10) 近世の庶民文化

目次

一 丁亥歳旦 上田連	57
二 「春の笑」	57
三 和堂利鳥 信上田	59
四 「田ごとのはる」 (明和八年刊、白雄編)	59
五 「信上諸家人名録 全」 (當時諸家人名録)	60

次